

やまがた木育プログラム体験会



スギのストラップづくり

会場…高島町屋内遊戯場もつくる



作成日
2024年11月13日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

この木育体験を通じて、木の働きがある事で自分たちの生活が守られている事を知る良いきっかけになると思いました。そして、大人たちが子どもたちへ国産の木を使う重要性や森林の機能を伝えていく事が、大事な事だと改めて学びました。
(担当S)



樹と木の話
1回目



木の重さ
チェック



オリジナルの
ストラップ完成



樹と木の話
2回目



やすりがけ
「丸くなってきた」



またやりたい！

11月9日(土)高島町屋内遊戯場もつくるにて、やまがた木育プログラム体験会「ストラップづくりを通して森の恵みを知ろう」を行いました。やまがた木育人材養成講座スキルアップ修了者からは、仲山常吉さん、今野颯さん、そして今回初めて参加の小山田智裕さん、高橋司さん、鈴木拓也さんの5名から講師として指導をしていただきました。初めにステージにて木育指導者より紙芝居を用いて「樹」と「木」について説明を行った後、ほつとルームへ移動し、スギの木のストラップ作成を2回に分けて行いました。当日は天気が良く、屋外で過ごす来場者も多い中、1回目は5組13名、2回目は呼び込みも行い5組14名、合わせて10組

27名に参加していただきました。

樹と木の話では、実際にスギ材とブナ材に触れながら、クイズを交え、木材の特徴や働きなどについて説明をしていただきました。スギの木のストラップ作成では、小さいお子さんでも親子で一緒にやすりがけ、アマニ油の塗布、紐通しの作業が出来ていました。初めてやすりを使うたお子さんは、角がどんだん丸くなっている変化に夢中になって取り組んでおり、「見て見て！」と嬉しそうに出来栄を見せにきてくれました。

- 【参加した方の感想】**
- ・少花粉のスギの存在を初めて知った。
 - ・自分のオリジナルのストラップが出来て嬉しい。
 - ・ストラップ作りでの子どもの集中力が意外だった。
 - ・レーザーで名前を入れてもらえて嬉しかった。

- 【スタッフの振り返り】**
- ・子育て支援センターという時間制限がある場で行う際は、1時間の木育体験は時間を取りすぎではないか。ストラップ作成をしながら、木の話をして良いのでは。
 - ・紙芝居の途中、小さいお子さんが飽きてしまったので、イラストなどを加えたりして、幼児向けバージョンの紙芝居があると良い。



2回目
ストラップ
作成



「カバンにつけます！」

